

こだま会「歴史教室」の紹介

こだま会には、現在、てく・テクの会、歴史教室、こだま句会などの「趣味の会」がありますが、歴史教室は「趣味の会」の第一弾として、1990年9月25日に、第一回史話会(講師 荒井太郎氏、テーマ「鎌倉史話」)として始まり、同年10月4日に第一回歴史散歩(北鎌倉駅～鎌倉駅 20余名参加)を行い、第二回史話会(歴史教室)で、歴史教室という名称を初めて使いました。

以来、回を重ね、2025年7月14日の「小田原北条氏ゆかりの玉縄城跡を訪ねる」で83回目を行いました。講師は、中村猪一郎氏、生方武羅夫氏、金子信男氏、外部講師を経て、現在、こだま会副代表幹事の一杉雄二氏が務めています。

毎回、20名前後の参加者があり、大変人気のある催しです。

以下に、最近実施した歴史教室の概要と写真を紹介します。

小田原北条氏ゆかりの玉縄城址を訪ねる

実施日 2025年7月14日(月)

講 師 一杉 雄二 氏

見学場所 大船駅⇒清泉女学院前⇒諏訪檀(玉縄城本丸跡)⇒諏訪神社⇒龍宝寺など

玉縄城は後北条氏初代の伊勢新九郎長氏(後の北条早雲)が相模国攻略の拠点として築城(1512年)。天然の要害に築かれた城は上杉朝興(1518年)、里見実堯(1526年)、上杉謙信(1561年)らの攻撃をすべて退ける。豊臣秀吉の小田原攻めの際(1590年)、城主北条氏勝は徳川家康の説得に応じて無血開城した。



諏訪檀の登り口



龍宝寺山門



諏訪檀復元模型



諏訪檀跡地で一杉講師の説明を聞く